

# 「10万本のチューリップ」明日は何本？ 視点2, 4

## 1. 単元名 がい数の使い方と表し方（4年生 9月）

## 2. 改善の動機・意図

金沢市の統計によれば、2019年8月期の人口は452,665人、因みに7月期は452,567人である。子どもたちの中には、これらの数は教科書にあるように「きっちりした数（正確）」であり、概数で表された約45万人は「正確ではない数（大体）」であると感じている子どもも少なくないと思われる。そんな子どもたちに、「きっちりした数」から「概数への処理」の流れで指導すると、先の感じ方を助長する恐れがあると考えた。そこで、本実践では、詳しい正確な数値よりも概数を用いた方が物事の様子が把握しやすい場面を設定し、「概数表示から導入」し、概数を用いざるを得ない背景を考察する。そのようにして、誤った思い込みを取り除いた上で、概数の必要性や概数で表すよさを理解させていきたいと考える。

## 3. 授業の構想

T1 「群生するチューリップの写真（写真1）」と「看板（図1）」を提示する

T2 先生も行ったときにチューリップをもらいました。

T3 さて、明日はこの看板、どうなると思う？（それぞれ、看板に考えを書かせる）

C1 「99900本」と書きました。

C2 明日も「100000本」でいいと思います。

C3 でも、それだと嘘になると思います。

C4 100本減ってもそんなに変わらない。

C5 もともと「100000本」も正確じゃないんじゃない？

T4 実は、次の日も「100000本」でした。

<100000本でいいのかな？>

C6 「100000本」の方がわかりやすいからいい。

C7 枯れたりして、正確な数がわからないから、そう書くしかない。

C8 正確に数えられたら、その数を書けばいいのでは？

C9 正確な数を伝える必要はないと思います。

C10 咲いたり枯れたりあげたりしても、大体「100000本」だから「100000本」でいい。

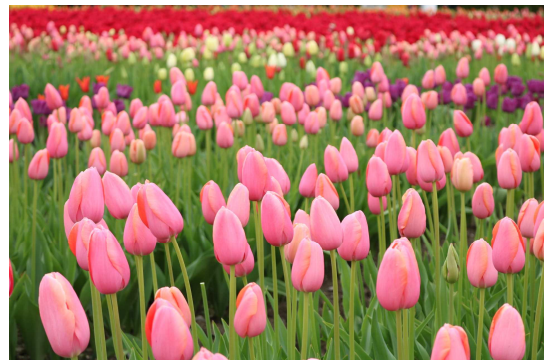
T5 どうも「100000本」でよさそうですね。でも、何本から何本ぐらいの時に「100000本」と書くのかな。

C11 90000本から110000本くらいかな。

C12 110000本は110000本でいいんじゃない？

C13 100000本の方がわかりやすい。

T6 「100000本」と言える範囲もいろいろありそうですね。こんな、幅のある数、正確ではないかも知れないけどある程度正確な数を「概数」といいます。これから、そんな「概数」について学習していきましょう。



(写真1)



(図1)